

災害時避難行動要支援者の支援方法について連絡会議 を開催しました

令和元年7月9日、ふれあいセンター 絆に於いて第1回連絡会議を開催しました。

連絡会議の目的は、災害時「避難行動要支援者」を災害から守るため、関係機関が集まり、意見交換と情報共有をスムーズに機能させる目的で開催されました。

本日の出席者は、安佐南区役所 地域おこし推進課 与倉課長、乾、三谷氏の3名をはじめ、避難支援等関係者として、安佐・安佐南地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センター、安佐南消防団、学区自主防災会連合会、地区民生委員児童委員協議会、毘沙門台学区社会福祉協議会が連携して災害時の支援対応に当たることを目的とし、それぞれが意見の交換をしました。

毘沙門台学区に於ける 危険性のある災害危険地域は（土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域）の要支援対象者は79名 となっています。

今後、学区自主防災会連合会が中心となって、不自由な方お一人、お一人の実情を考慮し、具体的な援助方法を策定することを確認し、第1回の連絡会議を終了しました。

同時に、大切な個人情報扱うことから守秘義務を徹底し、情報漏洩をしない事を参加者一同で確認をしました。

(2019/07/09 学区社会福祉協議会事務局長 林 裕)